



地域おこし協力隊

呉市の観光イベントで 特産品販売と観光PR

隊員同士のつながりで実現

12月11日に広島県呉市で開かれた観光イベント「とびしまーレ」に、大田市の「地域おこし協力隊員（以下、「隊員」）で富山町担当の竹内恒治さんと三瓶地区担当の河野寛美さんが参加しました。

このイベントは、呉市の「とびしま海道」沿いの島で

活動する隊員が企画したもので、今回で4回目の開催。地元グルメや特産品が販売され、毎回、大勢の人出でにぎわっています。

大田市からは「とみやまこがね味噌」「富山産新米コシヒカリ」、三瓶の「大脱走（レトルトキーマカレー）」「三瓶そば」など、隊員の担

当地区の特産品を販売。炊き立てのお米を試食し、「おいしい」とまとめて購入される人も。

また、温泉津町の「やきもの館」の体験予約の受付や陶器の販売、観光パンフレットを配布するなど、大田市の魅力をPRしました。このイベントは、両市の隊員同士のつながりから声

なったもの。当日もイベントの企画や運営のノウハウ、隊員同士の連携や協力体制について、他の地域の隊員と情報交換をしました。なお、竹内さんの担当地区の富山町から、入石営業組合の皆さん7人も応援参加。試食用のご飯の炊き出しや特産品の販売に汗を流しました。

富山町の活性化に精力的に取り組んでいる、地域おこし協力隊員の竹内恒治さん。「第2回“農業・農村はカッコいい!”和歌募集」で全国23府県から応募のあった172首の中から、竹内さんの詠んだ和歌が、優秀賞に選ばれました。

写真：雲南市での授賞式（11/19）

◆受賞作品◆

空に星 地には稲穂が輝いて 鍬ふる君は 汗にきらめく

◆竹内さんの受賞コメント◆

兵庫県から富山町に引っ越して、もうじき丸2年になります。山間部での暮らしは初めてなので、驚きの連続で毎日飽きることがありません。

都会では弱々しくてハッキリ見えなかった星が大田では夜空一面に輝き、風が吹くたびに稲穂が黄金色の波を打つ。そして、そこに住む人々が額に汗して懸命に暮らす姿は、何事にもかえがたく美しいと私は感じています。

今回、優秀賞をいただいた和歌は、そんな日々の想いから自然に生まれました。力強くたくましく生きる姿、その姿こそが美しく、農村の魅力なのだという事を、多くのかたが認めてくださっている証であると思います。



農業・農村はカッコいい!和歌募集 富山町の竹内隊員が優秀賞

活動報告

女子目線で 三瓶の魅力を 開拓・発信

河野隊員(三瓶地区)



登山やキャンプ、高原風景、豊かな自然は三瓶の最大の魅力ですが、それだけじゃない!——足元おしゃれサンダルの女子も、レトロなリフトにゆられて山頂からの景色を望み、美肌温泉に浸って、ステキカフェでまったり。ヘルシーな蕎麦、巨木パワースポットなど、ゆるくおいしく楽しめる「新しい三瓶の遊び方」をSNSや冊子で発信しています。

また、映画館のない大田に映画を!との思いから「三瓶の自然×三瓶の食×映画」のコラボ『さんべ山の上映会』を12月に開催。このほか、「三瓶そば」「三瓶放牧牛」の普及イベントの企画など、三瓶の「食」の魅力の発掘や発信に取り組んでいます。